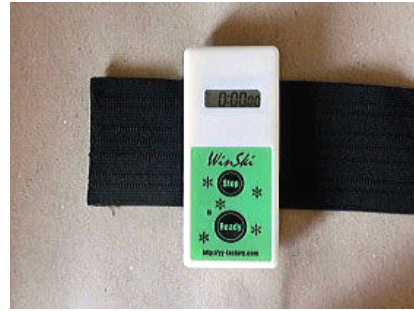


WinSki クイックスタートガイド

WinSki は、2個の赤外線発光装置とタイマーで構成されます。

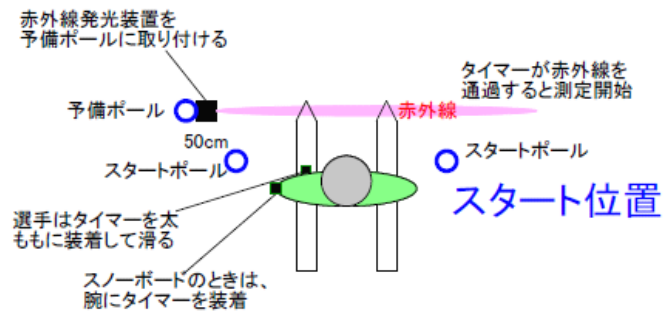
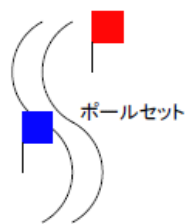
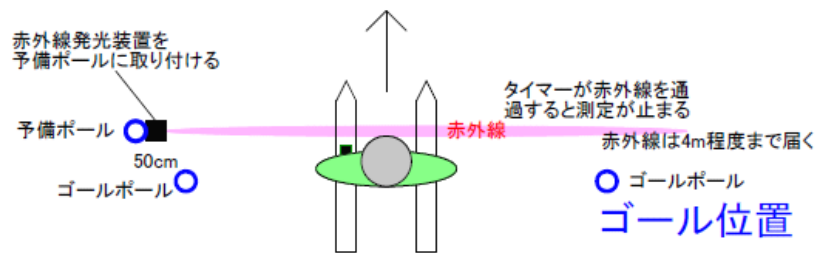


赤外線発光装置



タイマー

スタートとゴールの位置に設置した予備ポールに赤外線発光装置を取り付け、タイマーを装着した選手が滑走します。タイマーはスタートとゴールの赤外線を検出し、タイムを測定します。



赤外線発光装置は A ボタンを押しながら B ボタンを押すと点灯し、B ボタンのみを押すと消えます。
進行方向左側に設置してください。赤外線は目に見えませんが、緑の LED が点灯すれば正常です。赤の LED が点灯したときは電池が消耗していますので、電池を交換してください。

スキー用のタイマーは写真のように、左太ももに上下を逆にしてベルトで取り付けます。センサーが一つしかなく、写真の赤矢印の方向からくる赤外線にのみ感度を持ちますので、向きに注意してください。

スノーボードの場合は、センサーが三つあり、正面、左右の方向からの赤外線に感度を持ちます。その分電池の消耗が早いです。左腕の外側に着けて下さい。タイムを自分で読むときは、上下逆の方が、読み取りやすいです。



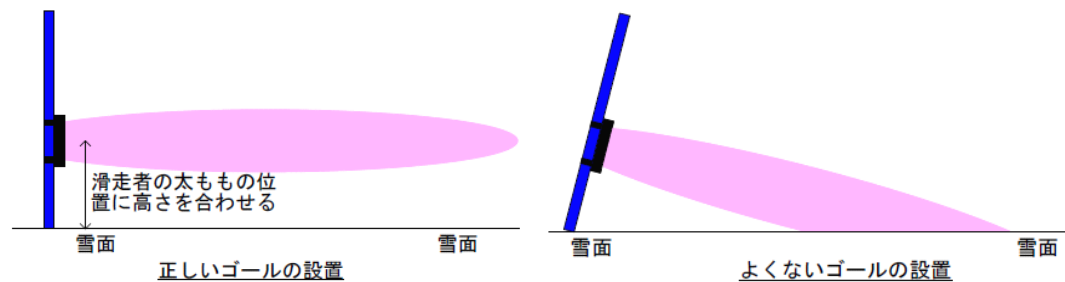
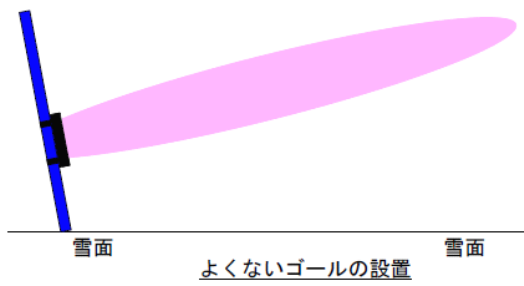
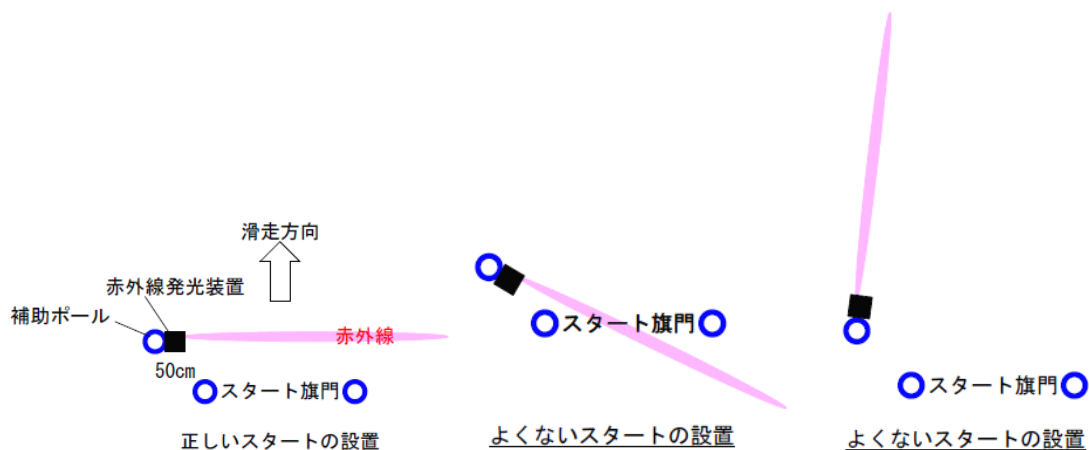
滑走直前にタイマーの「Ready」ボタンを押します。表示が0:00になり、赤のLEDが点灯します。「Ready」ボタンを押してから、90秒以内にゴールしてください。表示が0:00になっていても、スタート前に「Ready」を押さないと動作しませんので注意してください。前の選手が転倒して、Readyを押した後で待たされたときは、再度 Ready を押してからスタートしてください。

ゴールをし損ねて、ゴールの赤外線に感知していないときは、タイマーの時計が進んだままになります。このときは、「Stop」を押して、タイマーを止めてください。その後、「Ready」を押すと、再度タイム計測が可能となります。

異常終了やその他の理由で「Ready」を押しても表示が0:00にならないときがありますが、そのときは、「Stop」「Ready」「Ready」と押してください。それでもだめなときは、再度「Stop」「Ready」「Ready」と押してください。

タイマーの「Ready」を押して、赤LEDの点灯がひ弱になってきたら電池交換を行ってください。
<http://yy-factory.com/WinSkiBattery.pdf> に電池交換の手引きがあります。

測定ミスが多いときは、スタート・ゴールに設置した赤外線発光装置の向きが悪いなどの設置の問題が多いです。うまく測定できないときは、下図のようなことが起きてないかをご確認ください。特にスタートでは滑走者のポール(ストック)が当たって向きが変わることがあります。補助ポールは50cm以上離して設置してください。詳細は取扱説明書をご覧ください。
<http://yy-factory.com/WinSkiManual.pdf> から入手できます。



WinSki は使い慣れた滑走者が練習時のタイムを測定することを念頭に設計されています。使い慣れないと測定ミスが発生することがありますので、初めて WinSki を使用する選手が一発勝負の競技会で使用するという用途には適していませんのでご注意ください。